



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 株式会社スポーツフィールド 上場取引所 東
コード番号 7080 URL <https://www.sports-f.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 篠崎 克志
問合せ先責任者（役職名） 上席執行役員（氏名） 亀田 高一郎（TEL） 03-5225-1481
半期報告書提出予定日 2025年8月8日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（当社ウェブサイトにて決算説明動画を掲載）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期中間期	2,365	15.1	727	27.8	727	28.1	477	31.2
2024年12月期中間期	2,055	8.7	568	△9.5	568	△9.5	363	△10.8

（注）包括利益 2025年12月期中間期 477百万円（31.2％） 2024年12月期中間期 363百万円（△10.8％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	65.42	64.35
2024年12月期中間期	49.41	48.10

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期中間期	3,210	2,124	66.2
2024年12月期	2,707	1,763	65.1

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 2,124百万円 2024年12月期 1,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2025年12月期	—	0.00			
2025年12月期（予想）			—	19.00	19.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	4,400	14.4	1,100	25.8	1,100	26.1	715	20.1	97.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期中間期	7,456,320株	2024年12月期	7,440,960株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	149,996株	2024年12月期	149,996株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年12月期中間期	7,296,842株	2024年12月期中間期	7,367,130株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(収益認識関係)	9

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

中間連結会計期間(2025年1月1日～2025年6月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えました。ただし、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まることに加え、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、金融資本市場の変動等の影響に一層注意する状況は依然として続いております。人材サービス業界においては、2025年6月の有効求人倍率は1.22倍と依然として高い水準が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時にスポーツが持つ可能性を様々なフィールドで発揮し、個人、法人、地域社会そして日本の発展に貢献すること」という経営理念のもと、スポーツ人財(※1)がスポーツを通じて培った素養を活かし、競技以外のビジネスというフィールドで輝けるよう、最適な企業と結びつけることに取り組んでまいりました。

(※1. スポーツに打ち込んだ経験を通じて社会・企業が求める高い価値を身につけた人財。新卒者においては、現役体育会学生、大学スポーツサークル・高校部活・クラブチーム等での競技経験者。既卒者においては、体育会出身者及び現役アスリートも含めたスポーツに打ち込んだ経験を持つ社会人。)

当社グループの主要3事業である、新卒者向けイベント事業、新卒者向け人財紹介事業、既卒者向け人財紹介事業については以下のとおりであります。

(新卒者向けイベント事業)

新卒者向けイベント事業の当中間連結会計期間における売上高は1,017,203千円(前年同期比6.6%増)となり、前年同期実績を上回り過去最高の売上高となりました。イベント開催数は、来場型・中小規模イベントの開催数が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。企業のイベント出展ニーズが依然として強く、販売枠数は前年同期実績と同水準を維持しつつ、高単価の販売枠数が増加しました。2027年卒向けイベントの受注進捗は、2025年6月末時点で前年同期比+65.3%と、2026年卒向けイベントの実績を上回って推移しております。

(新卒者向け人財紹介事業)

新卒者向け人財紹介事業の当中間連結会計期間における売上高は693,047千円(前年同期比25.0%増)となり、過去最高となりました。2026年卒のスポンビ累計登録者数は卒業前年6月末時点において前年同期実績を上回りました。2026年卒ユニーク紹介学生数(企業に紹介した重複しない学生数)は前年同期比で増加、ユニーク紹介企業数(学生に紹介した重複しない企業数)についても、企業の旺盛な新卒採用ニーズを取り込むことにより、前年同期実績を上回りました。2026年卒のスポンチャレ累計登録者数は2025年卒の前年同期実績を上回って推移しております。スポンチャレの売上高は前年同期比+12.0%となり、新卒者向け人財紹介事業における売上高の増加に寄与しました。

(既卒者向け人財紹介事業)

既卒者向け人財紹介事業の当中間連結会計期間における売上高は565,680千円(前年同期比16.3%増)となり、過去最高売上高を更新しました。新規登録者数は、前年同期実績を下回ったものの、ターゲティング広告の強化により有効な登録者数を確保しております。ユニーク紹介人財数(企業に紹介した重複しない人財数)は前年同期実績で横ばいとなり、引き続き高い水準を維持しております。ユニーク紹介企業数は前年同期実績を上回りました。スポーツ関連企業に特化した就職・転職情報サイトであるスポジョバからの人財紹介案件への成約が既卒者向け人財紹介事業の売上高に寄与しました。

売上原価に関しては、スポンビアスリート(デュアルキャリア)事業における派遣労務費の増加、新卒者向けイベント事業におけるイベント開催数及び開催費用の増加により前年同期比で増加しました。

営業利益及び経常利益に関しては、成長のための投資により販売費及び一般管理費が増加したものの、売上高の増加が費用の増加分を上回ったことにより、利益は前年同期実績を上回り過去最高となりました。人件費は、人員体制強化

のための新卒採用社員(25卒)・中途採用社員の入社により前年同期比で増加しました。地代・家賃は、既存オフィスの増床等により前年同期比で増加しました。広告宣伝費は、スポチャレ・スポナビキャリア及びスポジョバ等の更なる登録者獲得のための投資により前年同期比で増加、その他販管費については、人員増に伴う諸費用の増加により前年同期比で増加しました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は2,365,153千円(前年同期比15.1%増)、営業利益は727,354千円(前年同期比27.8%増)、経常利益は727,438千円(前年同期比28.1%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は477,386千円(前年同期比31.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は3,210,528千円となり、前連結会計年度末に比べ502,855千円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加に伴い流動資産が469,711千円増加したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は1,086,102千円となり、前連結会計年度末に比べ142,032千円増加しました。これは主に、返金負債及び未払法人税等の増加に伴い流動負債が180,585千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は2,124,425千円となり、前連結会計年度末に比べ360,823千円増加しました。これは主に、利益剰余金が360,731千円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は2,238,535千円となり、前連結会計年度末に比べ534,285千円増加しました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動の結果、増加した資金は742,946千円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益の計上727,438千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動の結果、減少した資金は34,817千円となりました。これは主に、既存オフィスの増床・移転に伴う有形固定資産の取得による支出31,127千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動の結果、減少した資金は173,843千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出56,686千円、配当金の支払額116,554千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2025年2月14日に公表いたしました2025年12月期通期連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2025年8月8日)開示いたしました「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

上記に記載した業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,704,249	2,238,535
売掛金	484,580	412,272
その他	70,747	78,271
貸倒引当金	△1,369	△1,158
流動資産合計	2,258,208	2,727,920
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	250,273	247,183
工具、器具及び備品	89,236	104,313
減価償却累計額	△122,009	△135,462
有形固定資産合計	217,500	216,033
無形固定資産		
ソフトウェア	100	-
無形固定資産合計	100	-
投資その他の資産		
敷金	198,897	198,321
繰延税金資産	32,277	66,801
その他	688	1,450
投資その他の資産合計	231,862	266,573
固定資産合計	449,463	482,607
資産合計	2,707,672	3,210,528

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,793	3,984
1年内返済予定の長期借入金	91,702	70,032
未払金	102,232	78,342
未払費用	143,775	163,052
返金負債	43,986	94,327
未払法人税等	133,214	284,452
未払消費税等	70,753	93,872
賞与引当金	55,748	62,370
その他	96,694	93,051
流動負債合計	762,900	943,485
固定負債		
長期借入金	67,398	32,382
資産除去債務	110,108	107,170
その他	3,664	3,064
固定負債合計	181,170	142,616
負債合計	944,070	1,086,102
純資産の部		
株主資本		
資本金	93,650	93,696
資本剰余金	83,350	83,396
利益剰余金	1,686,971	2,047,702
自己株式	△100,370	△100,370
株主資本合計	1,763,601	2,124,425
純資産合計	1,763,601	2,124,425
負債純資産合計	2,707,672	3,210,528

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2,055,371	2,365,153
売上原価	89,901	107,689
売上総利益	1,965,469	2,257,463
販売費及び一般管理費	1,396,499	1,530,109
営業利益	568,970	727,354
営業外収益		
受取利息	7	813
雑収入	10	18
営業外収益合計	17	831
営業外費用		
支払利息	816	747
その他	89	-
営業外費用合計	906	747
経常利益	568,081	727,438
税金等調整前中間純利益	568,081	727,438
法人税、住民税及び事業税	206,250	284,576
法人税等調整額	△2,143	△34,524
法人税等合計	204,107	250,051
中間純利益	363,974	477,386
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	363,974	477,386

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	363,974	477,386
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
中間包括利益	363,974	477,386
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	363,974	477,386
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	568,081	727,438
減価償却費	11,437	16,955
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△520	△210
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,042	6,622
返金負債の増減額(△は減少)	3,642	50,341
受取利息及び受取配当金	△7	△813
支払利息及び割引料	816	747
売上債権の増減額(△は増加)	74,660	72,307
前渡金の増減額(△は増加)	2,885	5,212
前払費用の増減額(△は増加)	△12,928	△13,041
仕入債務の増減額(△は減少)	△20,812	△20,808
未払金の増減額(△は減少)	30,565	△6,669
未払費用の増減額(△は減少)	22,398	19,276
前受金の増減額(△は減少)	△11,719	△12,542
預り金の増減額(△は減少)	△620	9,212
その他	△49	22,094
小計	674,871	876,124
利息及び配当金の受取額	7	813
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△143,191	△133,338
利息及び割引料の支払額	△835	△652
営業活動によるキャッシュ・フロー	530,852	742,946
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△150	△31,127
敷金及び保証金の差入による支出	△20,919	△3,892
敷金及び保証金の回収による収入	-	678
その他の支出	-	△475
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,070	△34,817
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△50,016	△56,686
株式の発行による収入	84	92
配当金の支払額	△119,561	△116,554
リース債務の返済による支出	△668	△694
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170,162	△173,843
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	339,620	534,285
現金及び現金同等物の期首残高	1,457,392	1,704,249
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,797,013	2,238,535

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当中間連結会計期間の期首から適用しております。なお、中間連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、スポーツ人財採用支援事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

主要な財又はサービス別に分解した収益の情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
新卒者向けイベント売上高	954,516	1,017,203
新卒者向け人財紹介売上高	554,618	693,047
既卒者向け人財紹介売上高	486,350	565,680
その他の収益	59,885	89,221
顧客との契約から生じる収益	2,055,371	2,365,153
その他の収益	-	-
外部顧客への売上高	2,055,371	2,365,153